

### 寄贈図書リスト

- ①[フォトミュージアム] 絶景の夜空と地球, シュテファン・リーバーマン/ティル・ムンツェック,

中村康之訳, 規格外 257×257×21 mm, 228ページ, 5,800円+税, 原書房

- ②七夕伝説の謎を解く, 勝保隆, 四六判, 306ページ, 2,200円+税, 大修館書店

## 月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の「天文月報」に掲載いたします。校正をお願いしておりますので、締切日よりなるべく早めにお申込みください。

e-mailで [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp) 宛にお送りください。折り返し、受領の連絡をいたします。

### 賞の推薦

#### お茶の水女子大学賞： 第12回湯浅年子賞募集要項

##### 設立趣旨

湯浅年子賞は、大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（KEK）が日仏共同事業として運営する Toshiko Yuasa Laboratory（TYL）の協力を得て、湯浅年子博士の自然科学及びその関連分野への功績を記念して設立した賞で、お茶の水女子大学賞の1つとして位置づけられている。

##### 目的

湯浅年子賞は、本学及びその前身校において数多くの女子学生を育て、フランスにおいては長年にわたって優れた原子核の実験的研究を行い、国際的に活躍した日本初の女性自然科学者である湯浅年子博士の遺志が若い世代に受け継がれることを願い、自然科学の諸分野において顕著な業績を挙げた女性を顕彰することを目的とする。

##### 賞の種別

- (1) 金賞 物理学とその関連領域分野における業績が著しく顕著であり、国内あるいは国外において、既に高い評価が確立している女性を顕彰する。
- (2) 銀賞 物理学とその関連領域分野における業績が特に顕著であり、近い将来当該分野において、国際的に活躍する女性になると認められる者を顕彰する。

##### 受賞対象者

次の (1)、(2) 両方を満たす者。

- (1) 物理学とその関連領域分野において顕著な研究業績を挙げた者。また、物理学とその関連領域分野の社会的普及活動あるいは同分野の女性研究者を増大させる活動において、顕著な業績を挙げた

者も受賞対象者とする。

- (2) 日本国籍を有する者または日本において高等教育を受けた者。

##### 授与

受賞者には、賞状及び副賞のメダルを授与する。（メダルは大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構が日仏共同事業として運営する Toshiko Yuasa Laboratory より授与される。銀賞受賞者は、Toshiko Yuasa Laboratory によりフランスに招聘される。）授賞式は2025年2月18日予定。

##### 審査方法

書類審査並びに面接。（書類審査合格者に対して面接審査を行う場合がある。）

##### 応募方法

他薦に限る。以下の書類（形式自由）を、推薦者より提出する。

- (1) 推薦書 被推薦者の業績タイトル、推薦理由、賞の種別（金賞、銀賞）、推薦者の住所、氏名〔フリガナ〕及びメールアドレスを記載すること。
- (2) 被推薦者の履歴書（写真貼付）
- (3) 被推薦者の業績一覧（論文（審査の有無別）、著書、招待講演、学会発表、その他に分類すること）主たる業績3点以内に○印を付けること。
- (4) 被推薦者の主たる業績を表す資料3点以内

(1)～(4) のPDFファイルを下記のメールアドレスに送ること。なお、PDFファイルにしがたい資料は郵送による提出も可能。

##### 提出締切

2024年9月6日（金）（17時必着）

##### その他

- (1) 応募書類の提出後、その記載事項を変更することや補充することは認められません。

提出された応募書類の内容が事実と異なる場合、当該応募は無効となります。

- (2) 提出された応募書類は返却しません。  
 (3) お茶の水女子大学は、面接審査のための旅費は負担しません。  
 (4) 応募書類に虚偽が発見された場合は、授賞後であっても授賞を取消することがあります。  
 (5) 応募書類を受領後に確認メールを送付するので、メール送信後3日以上（土日祝、夏季一斉休業期間である8月13日～19日を除く）受領確認のメールが届かない場合には、お問い合わせください。

本件に関する問い合わせ・提出先

〒112-8610 東京都文京区大塚2丁目1番1号

国立大学法人お茶の水女子大学 企画戦略課

男女共同参画担当

E-mail: Ocha-Prize@cc.ocha.ac.jp

電話: 03-5978-5336

## 令和6年度『東レ理科教育賞』および『東レ理科教育賞・企画賞』募集

“東レ理科教育賞”は、中学・高校の理科教育に携わる先生方を表彰するユニークな事業です。応募要領をご覧ください。どうぞ奮ってご応募ください。

### 【東レ理科教育賞】

対象：中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた教育事例（教育の現場で実績のあるもの）。

褒賞：(1) 東レ理科教育賞文部科学大臣賞（賞状、銀メダルおよび副賞賞金100万円：東レ理科教育賞の中で特に優れているもの）、(2) 東レ理科教育賞（賞状、銀メダルおよび副賞賞金70万円）、(3) 東レ理科教育賞佳作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞に次ぐもの）、(4) 東レ理科教育賞奨励作（賞状および副賞賞金20万円：東レ理科教育賞および佳作とは別に理科教育上広く普及を奨励するもの）、を合せて10件程度選定。

応募手続：9月27日（金）正午までに専用ウェブフォームにて事前申込みの上、所定の応募用紙（申請書）に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日：2024年9月30日（月）必着。

応募要領URL: [www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html](http://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application.html)

### 【東レ理科教育賞・企画賞】

対象：中学校・高等学校レベルでの理科教育における新しい発想と工夫考案にもとづいた企画・開発。

褒賞：賞状および副賞賞金10～20万円（10件程度選定）。

応募手続：9月9日（月）正午までに専用ウェブフォー

ムにて事前申込みの上、所定の応募用紙（申請書）に必要事項を記入し、PDF形式に変換して応募専用メールアドレス宛てに送信。

応募締切日：2024年9月10日（火）必着。

応募要領URL: [www.toray-sf.or.jp/awards/education/application\\_plan.html](http://www.toray-sf.or.jp/awards/education/application_plan.html)

### 【両賞共通】

応募資格：中学校・高等学校の理科教育を担当、指導、または研究する方。応募要領参照（6月下旬に昨年度の実績作品集とともに全国の中学校、高等学校、高等専門学校の校長経由理科担当教諭宛などに送付。ウェブサイトにも掲載）。応募用紙はウェブサイトからダウンロードしてください。

### 【お問合せ】公益財団法人東レ科学振興会

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-16

Tel: 03-6262-1656 Fax: 03-6262-1901

## 研究助成

### 公益財団法人稲盛財団 2025年度稲盛研究助成

真の学問が育つためには多様性と独創性が大切だと考えます。稲盛研究助成は独創的な研究を行う多様な研究者に対して、1件100万円を助成し、より多くのアイデアの実現可能性を検証する機会を提供します。本研究助成募集に関する詳細は募集要項にてご確認ください。

稲盛研究助成ウェブサイト: [https://www.inamori-f.or.jp/inamori\\_grants](https://www.inamori-f.or.jp/inamori_grants)

### 研究分野

・自然科学系 ・人文・社会科学系

### 申請資格

自然科学系は2024年4月1日時点で40歳以下、人文・社会科学系は50歳以下で、稲盛財団より募集案内を送付した大学・機関に常勤で正式に雇用されている助教相当以上、主体的に研究を行っている方

### 募集期間

2024年7月1日（月）～2024年7月31日（水）

### 申請方法

所定のwebサイトを通じて申請

### 金額・件数

1件100万円を自然科学系40件、人文・社会科学系10件に助成

### 問い合わせ先

公益財団法人稲盛財団 助成部

Tel: 075-746-2543

Email: [grants@inamori-f.or.jp](mailto:grants@inamori-f.or.jp)

## 研究会・集会案内

### 山田研究会

#### 「第6回量子線イメージング研究会」

赤外線, X線, ガンマ線をはじめとする光子, 電子, 中性子, 分子, イオンなどの量子線を検出・解析する科学技術は, 素粒子・原子核物理学, 宇宙物理学, 物質科学から生命科学, 医学に至るまで幅広い分野で重要な貢献を果たしてきました。近年, これらの領域におけるイメージング検出技術は飛躍的に進化しています。同時に, 理学・工学や産官学の連携も深化し, 新たな展開が次々と生まれています。このような背景のもと, 分野を横断して「量子線イメージング (Quantum Beam Imaging, QBI)」をテーマに議論し, 科学技術の発展と新分野の創出を目指す研究会を発足させました。

この研究会では, 最新の研究成果や技術の共有, 異分野間の交流を通じて, 新たなアイデアやコラボレーションを促進します。研究会の参加者は, 大学院生を含む若手研究者, 自身の分野で積極的に研究開発を行っている研究者, そして研究グループを率いるシニア研究者など, 多岐にわたります。また, 学術分野からの参加者のみならず, 産業界で実用化を目指す研究者も対象としています。

第6回目である今年は, 東京理科大学神楽坂キャンパスの森戸記念館における対面と, オンラインのハイブリッド形式で開催します。多くの方のご発表, ご参加を期待します。なお, 学生の優れた発表には, 優秀発表賞を授与します。

また, 本研究会の開催にあたり, 公益財団法人山田科学振興財団よりご支援を頂いております。

日時: 2024年9月26日(木), 27日(金)

開催形式: 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館での対面とzoomのハイブリッドを予定

#### 基調講演

- ・ Anton S. Tremsin (Space Sciences Laboratory, University of California at Berkeley, USA)
- ・ Andrew Holland (Open University, UK)

#### 招待講演

- ・ 阿部英介 (理化学研究所)
- ・ 赤松弘規 (KEK)
- ・ 外川学 (KEK)
- ・ 小川新平 (三菱電機)
- ・ 兼松学 (東京理科大学)

その他の招待講演者も現在交渉中です。

研究会Webページ: <https://www.rs.tus.ac.jp/tkohmura/>

[QBI2024/QBI2024workshop.html](https://www.rs.tus.ac.jp/tkohmura/)

主催: 量子線イメージング研究会実行委員会

後援: 各種学会に依頼中

Scientific Organizing Committee:

- 常深博 (大阪大学)
- 新井康夫 (KEK)
- 大久保雅隆 (産総研)
- 片山晴善 (JAXA)
- 倉知郁生 (ディーアンドエス)
- 幸村孝由 (東京理科大学)
- 高橋忠幸 (東京大学IPMU)
- 鶴 剛 (京都大学)
- 中村哲 (東京大学)
- 初井宇記 (理研)
- 松本浩典 (大阪大学)
- 宮崎聡 (国立天文台)
- 安富啓太 (静岡大学)
- 山谷泰賀 (量子科学技術研究開発機構)

Local Organizing Committee:

- 幸村孝由 (東京理科大学, 事務局), 内田悠介 (東京理科大学)

### 国立天文台野辺山 特別公開のお知らせ

国立天文台野辺山では, 日頃行われている天体観測の様子や, 最新の天文学研究成果をより広く知っていただくため, 毎年観測所施設の特別公開を行っています。今年は, オンラインイベントと現地開催イベントの2つを実施します。

#### ◎開催概要

##### ●オンラインイベント

日時: 2024年7月20日(土) 10:00~16:30

場所: 国立天文台野辺山ウェブサイト

<https://www.nro.nao.ac.jp/visit/open2024/online/>

- ・ 上記ウェブサイトのリンクよりご参加ください。
- 内容: オンラインの動画配信と仮想空間会場で実施します。『ヨンゴー研究発表会』は, 電波天文のしくみから最新の研究成果までの発表会を行います。『電波天文を学べる研究室』では, いくつかの研究室を紹介します。

##### ●現地特別イベント

日時: 2024年8月24日(土) 9:30~16:00

場所: 国立天文台野辺山宇宙電波観測所 (長野県)

アクセス: 以下のサイトを参照してください。

<https://www.nro.nao.ac.jp/visit/access.html>

内容: 45メートル電波望遠鏡の主鏡に触れる「ヨンゴー・タッチ」や, ポスターによる「みんなの研究

紹介」, 実際に電波をとらえる電波受信実演, そして、  
現地をめぐる「キーワード・ラリー」を行います。

ご注意

- ・公開時間が普段と異なりますのでご注意ください。
- ・当日は、JR野辺山駅前にて実施される「南牧村元  
気まつり2024」×「そらフェス」の同時開催となり  
ます。駐車場は共通となりますので、駅前からの  
シャトルバスにてご来場ください。

主催：国立天文台野辺山宇宙電波観測所

共催：南牧村振興公社

後援：南牧村、南牧村商工会・商工会青年部、長野  
県、長野県教育委員会

問い合わせ先：国立天文台野辺山宇宙電波観測所

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山462-2

電話：0267-98-4300（代表）

ウェブサイト（内容は随時更新されます）

<https://www.nro.nao.ac.jp/visit/open2024/>

## 会 務 案 内

### 公益社団法人日本天文学会 2023 年度 (2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

#### 事業および決算の報告

事業・決算報告書の電子版を日本天文学会ホーム  
ページ上 (<https://www.asj.or.jp/>) で公開してありま  
すが、書面による配布を希望される方には別途郵送い  
たしますので、学会事務所までご連絡ください。

#### 1. 2023 年度事業の報告

2023 年 9 月の秋季年会（名古屋大学）は現地での講  
演を基本としてオンラインでも聴講できるハイブリッ  
ドで開催し、2024 年 3 月の春季年会（東京大学）は、  
前半 2 日間は現地での講演とオンライン配信のハイブ  
リッドとし、後半 3 日間は完全オンラインでの開催と  
しました。助成金では、早川基金として海外研究活動  
のための渡航補助を 24 名（うち 3 名辞退）に総額約  
503 万円、学術交流費として年会学生発表者に総額約  
25 万円を支給しました。それ以外の活動内容はおお  
むね例年通りでした。欧文研究報告、天文月報、年会  
予稿集、ジュニアセッション予稿集、シリーズ現代の  
天文学の刊行、各種委員会活動、各賞の授与、後援事  
業を行いました。詳しい事業報告は学会ホームページ  
を参照して下さい。2024 年 3 月 31 日現在の会員数は  
以下の通りです。

	正会員 (内学生)	準会員	団体 会員	賛助 会員	合計
2023 年 3 月 31 日	2,272 (596)	1,003	38	45	3,358
入会	245 (225)	48	1	1	295
退会・除籍等 (うち除籍) <sup>注1</sup>	△191 (△139) (△11(0))	△95 (△14)	△4 (0)	0 (0)	△290 (△25)
移籍 (増) <sup>注2</sup>	1(1)	13	—	—	14
移籍 (減) <sup>注2</sup>	△13(0)	△1	—	—	△14
正会員へ (学生減) <sup>注3</sup>	(△37)	—	—	—	—
2024 年 3 月 31 日	2,314(646)	968	35	46	3,363

注 1：除籍とは会費未納による資格喪失を指す

注 2：移籍とは正会員、準会員との間の移動のことを指す

注 3：学割扱いの正会員から通常の正会員への移動を指す

#### 2. 2023 年度決算の報告

2023 年度の経常収益は前年度より 5,183,394 円増、経  
常費用は同 9,572,677 円増、学会の正味財産は 376,477  
円増加し 142,575,783 円となりました。受取会費は前年  
度より 1,156,000 円増加し 41,838,000 円でした。

欧文研究報告（PASJ）事業では、ポンド建ての収  
支は前年度と比較して減少しましたが、円安の影響で  
本年度も収益が経費を上回りました。年会事業では、  
秋季年会は現地開催、春季年会は一部オンライン／一  
部現地のハイブリッド開催となりました。春季年会の  
一部がオンライン開催となったことで会場費等が抑え  
られ、黒字となりました。賛助会費と寄付で運営され  
ている助成事業では、学術交流費基金、国内研修支援  
基金、研究奨励賞基金、早川幸男基金、林賞基金に  
寄付をいただきました。支援に感謝いたします。

2023 年度の公益目的事業会計は 773,489 円の赤字と  
なり、過去数年続いた黒字が一旦落ち着く形となりま  
した。これはポストコロナ時代の影響と見られるその  
他の事業の活発化、一方で対面活動の縮小や通信費の  
増加、上述のように年会開催方式に依存した年会コス  
トの変動、物価高、PASJ 事業への為替の影響等、  
様々な要因が積み重なった結果と分析しています。ポ  
ストコロナ時代の行動様式、物価高、円安等外部要因  
に大きく影響を受ける側面は否めませんが、社会の状  
況を注視しつつ、適正な予算策定と公益社団法人の趣  
旨に沿った柔軟な予算執行を行うことで、健全な財政  
の維持に努めてまいります。事業別決算書内訳は以下  
のとおりです。

事業別決算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

公益社団法人 日本天文学会 (単位: 円)

科 目	公益目的事業					
	一般事業					
	共通事業	欧文事業	月報事業	年会事業	その他の事業	小 計
経常収益計	20,184,487	46,621,296	2,212,073	11,226,620	748,356	80,992,832
経常費用計	17,515,175	34,735,738	13,909,289	8,667,582	7,737,040	82,564,824
当期経常増減額	2,669,312	11,885,558	△ 11,697,216	2,559,038	△ 6,988,684	△ 1,571,992

科 目	公益目的事業会計						公益目的 事業計
	一般事業						
	学術交流費 事業	国内研修 支援金事業	研究奨励賞 事業	早川基金 事業	林賞 事業	小 計	
経常収益計	735,887	550	788,890	5,042,379	448,086	7,015,792	88,008,624
経常費用計	265,241	550	461,033	5,042,379	448,086	6,217,289	88,782,113
当期経常増減額	470,646	0	327,857	0	0	798,503	△ 773,489

科 目	法人会計	内部取引 消去	合 計
経常収益計	20,333,828	0	108,342,452
経常費用計	19,257,666	0	108,039,779
当期経常増減額	1,076,162	0	302,673

入会・移籍・退会のお知らせ

2024年5月21日に開催された公益社団法人日本天文学会理事会において、正式に入会・移籍が承認された方、退会が報告された方の人数をお知らせします。  
入会 正会員：41名 準会員：9名  
退会 正会員：176名 準会員：69名 賛助会員：1団体  
移籍 準→正：1名

大金要次郎、的川恭宣、佐々木敏由紀、渡邊瑛里、永井洋、野田千馬、家正則、小川英夫、中川貴雄、藤本真克、横山順一、吉川真、堀田英之、羽部朝男、泉浦秀行、三好真、鈴木建、幸田仁、高田昌広、谷隆志、小嶋崇文、岡博幸、大橋隆哉、亀野誠二、阪本成一、嶋作一大、千葉柁司、吉田道利、水野亮、鳥居祥二、中澤清、本間希樹、佐々木敏由紀、伊藤孝士

編集委員より

2023 年度ご寄付者名

2023年度に日本天文学会へご寄付をいただいた方々です。深く感謝申し上げます。  
(敬称略／受付順)  
佐藤明達、縣秀彦、郷田直輝、浅山信一郎、

天文月報表紙デザイン案大募集！

天文月報では、次の一年間の表紙デザインを常時募集しております。毎年8月31日に締め切り、一年間で集まった作品を対象に、翌年の表紙デザインを選考



します。詳しくは下記募集要項をご確認ください。応募はプロ・アマチュア、会員・非会員問わずどなたでも受け付けておりますので、多くの方からの応募をお待ちしております。

#### ＜募集概要＞

- ・採用作品掲載期間は毎年1号（12/20発行）～12号（11/20発行）の12ヶ月（12回分）です。
- ・表紙は題字（『天文月報』の文字）、号数、日本天文学会のロゴマーク、記事タイトル、カラー画像（毎月変更）および背景イラストで構成されます。すべての配置を含めたデザインをお願いいたします。
- ・毎号違うイラストでも、同じデザインで色違いでも構いません。具体例は過去の天文月報をご覧ください。

天文月報のホームページのバックナンバー

<https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/backnumber>

■募集要項・天文月報投稿用アップローダーに、表紙デザイン案の画像ファイル、およびそのコンセプトをお送りください。

- ・カラー：CMYK
- ・ファイル形式：JPEG
- ・雑誌のサイズ：B5判タテ（182ミリ×257ミリ）
- ・締切り：2024年8月31日
- ・送り先：天文月報編集委員会天文月報投稿用アップローダー

[https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author\\_submission/](https://www.asj.or.jp/jp/activities/geppou/author_submission/)

ユーザー名：geppou パスワード：toukou

#### ■応募規定

- ・募集する作品は、応募者が作成した未発表のオリジナル作品に限りします。
- ・作品の中に第三者が著作権等の権利を有している著作物等を利用していないものとします。
- ・採用された場合、納品された表紙の著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、表紙に使用したオリジナル原画の著作権（著作権法21条から26条の3に規定する権利。）は日本天文学会天文月報編集委員会に帰属します。
- ・採用された場合、著作者が表紙に使用したオリジナル原画を他の目的で使用する際は、事前にその旨を日本天文学会天文月報編集委員会に知らせ、転載許可を取ってください。
- ・応募にあたりご提供いただいた個人情報は、本要項による採用作品の通知のためのみに使用します。
- ・採用された方には、規定の謝礼をお支払いします。（24万円/1年分（税込み））
- ・問い合わせ先  
問い合わせフォーム：<https://www.asj.or.jp/jp/contact/e>  
メール：[geppou@asj.or.jp](mailto:geppou@asj.or.jp)

天文月報オンラインのユーザ名とパスワード

ユーザ名：asj2024

パスワード：雑誌コード（5桁の数字）と **vol117**（6文字）の計11文字を入力してください。「雑誌コード」とは印刷版の月報の裏表紙の右下に書かれている「雑誌○○○○○—▲」の○○○○○の部分です。○○○○○は各号共通の数字です。

編集委員：津村耕司（委員長）、岩崎一成、小野寺仁人、勝田哲、川中宣太、西澤淳、仏坂健太、岡本文典、

日下部展彦、小山翔子、志達めぐみ、鈴木大介、島海森、信川久美子、橋本拓也、宮本祐介

令和6年7月20日 発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

印刷発行 印刷所 〒162-0801 新宿区山吹町332-6 株式会社 国際文献社

定価733円（本体667円） 発行所 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 公益社団法人 日本天文学会

Tel: 0422-31-1359（事務所）／0422-31-5488（月報） Fax: 0422-31-5487

振込口座：郵便振替口座00160-1-13595 日本天文学会

三菱UFJ銀行 三鷹支店（普）4434400 公益社団法人 日本天文学会

日本天文学会のウェブサイト <https://www.asj.or.jp/> 月報編集 e-mail: [toukou@geppou.asj.or.jp](mailto:toukou@geppou.asj.or.jp)

会費には天文月報購読料が含まれます。

©公益社団法人日本天文学会2024年（本誌掲載記事は無断転載を禁じます）